改訂日 2026年9月30日

安全性データシート

発行年月日 2014年4月24日　改訂年月日 2026年9月30日　改訂番号 1.1

1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N.8（混合物）
含有成分	m-キシレン、p-キシレン、o-キシレン、エチルベンゼン
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者（国内責任事業者）	株式会社エスティーエム 埼玉県入間郡毛呂山町川角 502-6 TEL 049-276-1060　FAX 049-276-1059
製造者（海外）	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA

2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分	H文言
引火性液体	区分3	H226: 引火性液体及び蒸気
急性毒性（経皮）	区分4	H312: 皮膚に接触すると有害
急性毒性（吸入：蒸気）	区分4	H332: 吸入すると有害
皮膚刺激性	区分2	H315：皮膚刺激
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2	H373：長期または反復ばく露により臓器の損傷のおそれ
誤えん有害性	区分1	H304：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

内容	表示
GHS 絵表示	
注意喚起語（Signal word）	危険

P-文言

P210	火気・高温・火花・発火源から離して取扱う、 禁煙
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを 吸入しないこと
P264	取扱後はよく手・顔などを洗うこと
P301+P310	【誤飲】医師または毒性センターに直ちに連絡を
P331	吐かせてはいけない
P370+P378	火災時：二酸化炭素、乾燥粉末、泡消火薬剤を使用すること
P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいとこ ろに置くこと

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS No.	含有率（質量%）	GHS クラス・区分（H コード）	備考
m-キシレン	108-38-3	30–60 %	急性毒性（経皮）4（H312）、急性毒性（吸入：蒸気）4（H332）、皮膚刺激 2（H315）、引火性液体 3（H226）	EC番号：203-576-3 安衛法・化審法：共に該当
p-キシレン	106-42-3	15–40 %	急性毒性（経皮）4（H312）、急性毒性（吸入：蒸気）4（H332）、皮膚刺激 2（H315）、引火性液体 3（H226）	EC番号：203-396-5 安衛法・化審法：共に該当
o-キシレン	95-47-6	10–30 %	急性毒性（経皮）4（H312）、急性毒性（吸入：蒸気）4（H332）、皮膚刺激 2（H315）、引火性液体 3（H226）変異原性 1B（H340）、発がん性 1B（H350）、誤えん有害性 1（H304）	EC番号：202-422-2 安衛法・化審法：共に該当
エチルベンゼン	100-41-4	10–30 %	引火性液体 2（H225）、急性毒性（吸入：蒸気）4（H332）、特定標的臓器毒性（反復ばく露）2（H373）、変異原性 1B（H340）、発がん性 1B（H350）、誤えん有害性 1（H304）	EC番号：202-849-4 安衛法・化審法：共に該当

4. 応急措置

経路	応急処置
吸入	新鮮空気の場所へ移動し安静を保つ。呼吸困難時は酸素投与（訓練を受けた者が実施）。症状があれば直ちに医師の診察を受ける。呼吸停止時は救急要請し人工呼吸を実施。
皮膚接触	直ちに多量の水と石けんで洗浄。汚染衣類・靴は脱ぎ、再使用前に洗浄。刺激や発赤が残る場合は医師の診察を受ける。
眼へのばく露	多量の水で 15 分以上洗眼し、まぶたを開いて洗う。コンタクトレンズがあれば外す。症状が続く場合は眼科医を受診。
飲み込み	嘔吐禁止。口をすすぎ、意識のない者には何も与えない。直ちに医師または毒物センターに連絡。誤えん防止のため、吐き気が自然に起きた場合は頭部を低く保つ。
応急処置者の保護	火源除去。呼吸用保護具・手袋・保護眼鏡を着用し、皮膚・衣類・眼との接触を避ける。

5. 火災時の措置

- 使用可能な消火剤：二酸化炭素、耐アルコール泡、乾燥粉末、水スプレー
- 特有の危険性：燃焼時に一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO_2）など有害ガスを発生する可能性。容器や残渣が加熱されると破裂の危険あり。
- 消火者保護具: 正圧式SCBA（自給式呼吸器）、耐火・耐薬品防護服、保護手袋、防護眼鏡／フェイスシールドを着用。
- 消火活動上の注意：風上から行動し、火源から安全距離を確保。周囲の容器を水で冷却。消火水は環境汚染防止のため回収・適切に処理。

6. 漏出時の措置

人体への保護措置

- 漏洩現場への無関係者の立ち入りを禁止。
- 有機蒸気用防毒マスク、保護手袋、ゴーグル、防護衣、耐油長靴を着用。
- 火気・静電気を除去し、換気を行う。

環境汚染防止策

- 下水道、河川、土壌への流出を防ぐ。土嚢やバリケードで拡散を阻止。
- 大量漏出時は自治体や環境当局に通報。

封じ込めおよび収集方法

- 漏洩液は不燃性吸収材（砂、珪藻土、バーミキュライト等）で吸着し、密閉容器に回収。
- 静電気防止措置（接地、帯電防止機器使用）を徹底。
- 回収物はラベル表示の上、許可を受けた廃棄業者に処理依頼。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い時の注意：

- 換気（局所排気または全体換気）を十分に行い、蒸気・ミストの吸入を防止する。
- 火気・高温・火花・静電気を避け、引火源から離して作業。
- 必要に応じて保護具を着用（セクション8参照）。
- 作業中は飲食・喫煙禁止。作業後は手洗い・うがいを励行し、汚染衣類は再使用前に洗浄。
- 強酸・強塩基・酸化剤との接触を避ける。

衛生管理：

- 作業場への無関係者立入禁止。
- 休憩エリアに汚染された保護具を持ち込まない。

保管条件：

- 容器を密閉し、冷暗所で換気の良い場所に直立保管。
- 直射日光・高温・多湿を避ける。
- 識別ラベルを貼付し、混合不可物質から隔離。
- 子供や無関係者の手の届かない場所に保管。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度（参考値）

- m-キシレン：TWA 50 ppm（日本有機溶剤中毒予防規則の第2種有機溶剤）
- p-キシレン：TWA 50 ppm（同上）
- o-キシレン：TWA 50 ppm（同上）
-エチルベンゼン：TWA 50 ppm（日本・ACGIH）

工学的対策

- 局所排気や換気設備で蒸気・ミストの拡散防止
- 防爆仕様設備、静電気防止対策の導入

個人用保護具

用途	保護具内容
呼吸用	有機ガス用防毒マスク（国家検定合格品）
手の保護	ニトリルゴム製または同等の耐溶剤手袋
眼の保護	耐薬品ゴーグルまたはフェイスシールド
皮膚・身体	長袖防護衣、耐油作業衣、静電気対策

衛生対策

- 作業後は必ず手洗い・うがいを行う。
- 汚染衣類は洗浄後に再使用。
- 作業場に洗眼器・シャワー設置

環境管理

- 排気・排水は環境規制に適合させる。
- 大量漏出時は環境主管部署に通報。

9. 物理的及び化学的性質

項目	記載内容
外観／状態	無色透明液体
匂い	炭化水素様
融点／凝固点	約 -41 ℃
沸点範囲	約139 ℃
引火点（閉カップ）	約29 ℃
粘度（動粘度）	約0.6 cSt　（40 ℃）
可燃性	可燃性液体
水溶性	水に不溶、他の有機溶媒に可溶
比重（相対密度）	約0.87
蒸気圧・蒸気比重	情報なし
自動着火温度／爆発範囲	情報なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性：通常の使用・保管条件下で安定。
- 危険反応の可能性：通常の使用条件下では反応しない
- 避けるべき条件：火気、高温、静電気、酸化剤との接触。
- 危険な分解生成物：燃焼時にCO、CO_2の発生可能性あり。
- 感電・爆発危険性：静電気放電による着火の可能性あり。

11. 有害性情報

急性毒性：

- 製品全体：吸入・経皮により有害。誤飲による誤えん危険性あり。
- m-キシレン：LD_{50}（経口、ラット）5 g/kg、LD_{50}（経皮、ウサギ）14,100 μL/kg、LC_{50}（吸入、ラット、4h）4,740 ppm
- p-キシレン：LD_{50}（経口、ラット）4,029 mg/kg、LC_{50}（吸入、ラット、4h）4,550 ppm
- o-キシレン：LD_{50}（経口、ラット）3,608 mg/kg、LD_{50}（経皮、ウサギ）14,100 mg/kg、LC_{50}（吸入、ラット、6h）4,330 ppm
- エチルベンゼン：LD_{50}（経口、ラット）3,500 mg/kg、LD_{50}（経皮、ウサギ）15,400 mg/kg、LC_{50}（吸入、ラット、4h）17.4 mg/L

刺激性・腐食性：

- 皮膚：区分2（皮膚刺激性あり）
- 眼：区分2（強い眼刺激性）

感作性

- 呼吸器感作性：該当なし
- 皮膚感作性：該当なし

発がん性・変異原性・生殖毒性

- o-キシレン、エチルベンゼンは区分1B（発がん性）
- o-キシレン、エチルベンゼンは区分1B（生殖細胞変異原性）
-

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

- 区分3（中枢神経抑制による眠気・めまい）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

- エチルベンゼン 区分2（聴覚器官など）

誤えん有害性

- 区分1：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれあり

12. 環境影響情報

水生毒性：

水生生物に対する有害性

- m-キシレン：Daphnia magna（48h）EC_{50}＝2.81–5.0 mg/L（有害）
- p-キシレン：Daphnia magna（48h）EC_{50}＝3.55–6.31 mg/L（有害）
- o-キシレン：Daphnia magna（48h）EC_{50}＝0.78–2.51 mg/L（非常に有害）
- エチルベンゼン：Daphnia magna（48h）EC_{50}＝1–4 mg/L（有害）

生分解性

- データなし（キシレン類・エチルベンゼンは一般に易分解性）

生体蓄積性

- log Pow ≈ 3.1〜3.2（生物蓄積の可能性あり）

PBT/vPvB判定

- 非該当

13. 廃棄上の注意

- 本製品および未使用残渣は家庭廃棄せず、法令に基づき産業廃棄物処理業者に委託
- 汚染容器や包装は再利用せず、内容物を除去し密閉の上、専門業者に廃棄委託
- 消火や漏洩で使用した吸収材・汚染物も同様に処理し、下水道・河川・土壌への流出を防ぐ。
- リサイクル困難な場合は焼却処理や封じ込め処理を実施し、法令適合を確認

14. 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	UN1307
輸送上の名称	キシレン（Xylenes）
危険物クラス	3（引火性液体）
包装等級	III
適用規則	ADR（陸上）、IMDG（海上）、IATA（航空）
海上汚染性	非該当（ただし水生生物への有害性あり）
少量輸送	限定数量適用あり

国内規制

陸上	消防法、毒物及び劇物取締法に従う
海上	船舶安全法に従う
航空	航空法に従う
その他	未洗浄容器の切断・溶接・研磨は禁止（残留蒸気による爆発リスク）

15. 適用法令

法令名	該当性	備考（管理番号や分類など）
労働安全衛生法（安衛法）	該当	・名称等を表示すべき危険有害物（法第57条） ・名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2） ・リスクアセスメント対象物（法第57条の3） ・危険物・引火性の物（施行令別表第1） ・第2種有機溶剤等（有機溶剤中毒予防規則） ・作業環境評価基準（法第65条の2）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	該当	キシレン（劇物）
特化則／有機則（有機溶剤中毒予防規則）	該当	キシレン（第二種有機溶剤等）
PRTR 法（化管法）	該当	キシレン（管理番号 80）、エチルベンゼン（管理番号 43）
消防法（危険物規制）	該当	非水溶性第 4 類第 2 石油類・危険等級 III
化学物質審査規制法（化審法）	該当	キシレン（優先評価化学物質 ・既存化学物質 ） エチルベンゼン（優先評価化学物質 ・既存化学物質 ）

16. その他の情報

- 発行日：2014年4月24日
- 改訂日：2026年9月30日
- 参照元SDS（英語版）: Revision Date 2024-09-10
- 略語：

GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）

TWA：Time Weighted Average（時間加重平均値）

STEL：Short-Term Exposure Limit（短時間曝露限界値）

OEL：Occupational Exposure Limit（作業環境許容濃度）

- 参考文献：

- 欧州CLP規則（EC 1272/2008）
- JIS Z 7252:2025（化学品の分類に基づく表示及び文書による警告）
- JIS Z 7253:2025（安全データシートの作成方法）
- 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- 各成分のSDS（製造者公表値）

免責事項：

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

安全データシート終わり